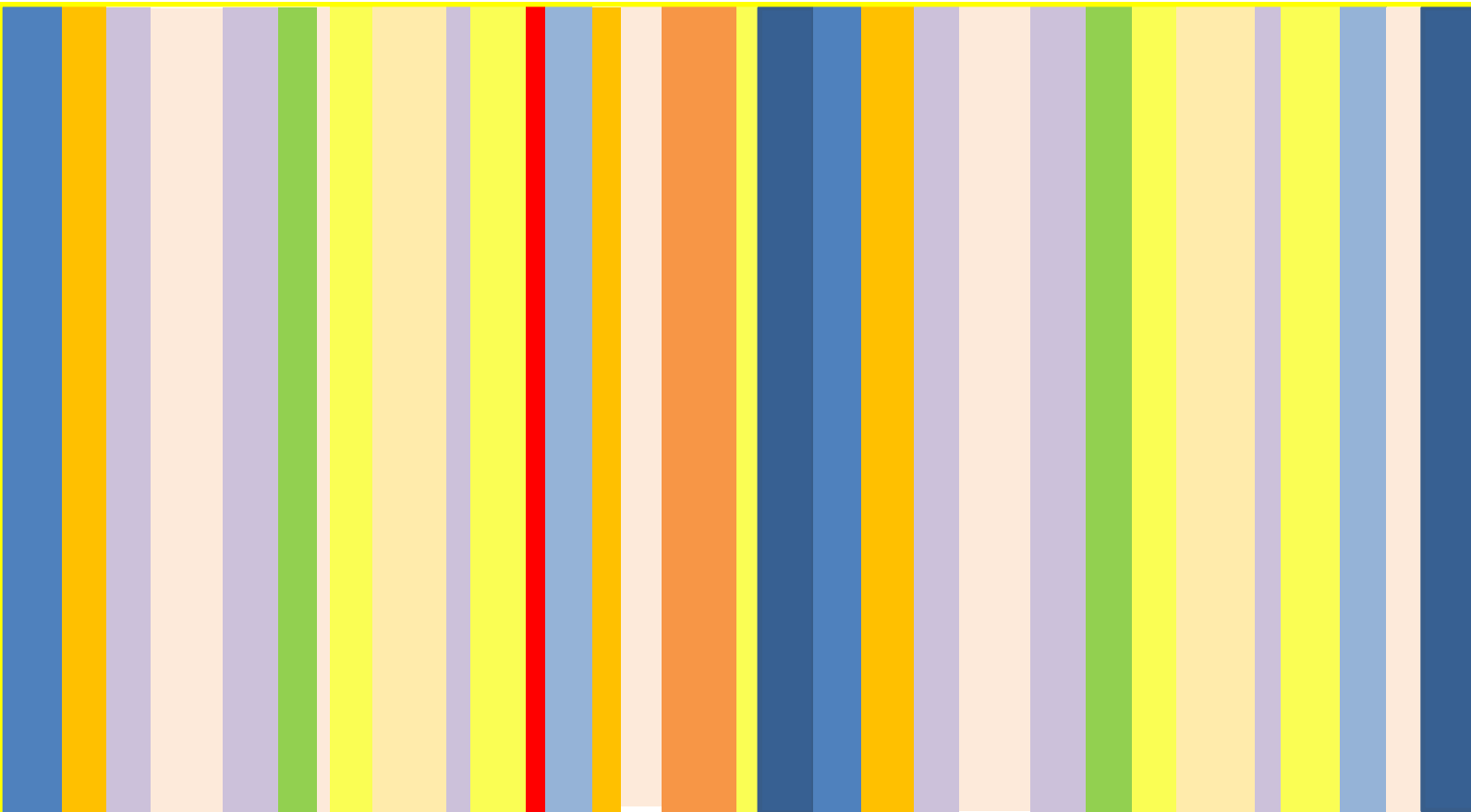


Single parent 101

離婚シングルマザーに決断のヒントを提供し、エンパワメントする

田中 志保



静岡中部地区シングルマザーデータ



母子家庭数

25世帯

離婚によるもの

92%

親族と同居

50%

就労率

92%

就業年収

264万円

面会交流

25%

母年齢

39.7才

養育費受取

46%

全国平均と比べて、就労率、養育費の受取率、就業年収、親との同居率が高いが面会交流実施率が低い。

相談したくても窓口がなくて困ったことBEST 3



①子どもが保育園に入れない！

- (事例)
- ・シングルマザーでも優先的に保育園に入れてもらえない。
 - ・離婚直後にすぐ保育園に入れず、働き口もなく窮地に陥った。
 - ・待機児童だったため、一時保育で月3万円払う生活が1年弱続いた。

②離婚という決断を肯定してくれるところがない！

- (事例)
- ・離婚に同調してくれる人が欲しかった。
 - ・自分の決断を裏付けることができる何かをほしかった。
 - ・離婚を決意して、最初に何をどうすれば良いかわからなかった。

③DVで実家に逃げた時の金銭的なサポートがない！

- (事例)
- ・当面のお金がなく、市役所に相談したが、離婚が成立していなければダメだと言われてお金がどこからももらえず困った。
 - ・調停で婚姻費用の取り決めが決まるまで手元にお金がなくて困った。

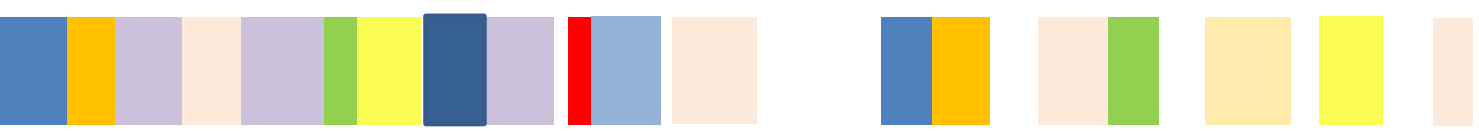
離婚前後にあれば良かったサービスBEST 3



- ① 調停や裁判中に似たような状態の人と話せる場・
気軽に悩みを話せる場
- ② 働き方を相談できる場・元夫とのトラブルが相談できる
場
- ③ 面会交流の同伴や調整をしてもらえるところ



離婚前後のシングルマザーが
直面するのは
「自分で決断していかなければ
解決しない問題」



そのため

「同じ境遇にいる（いた）人の話や過去の事例を見聞きすることで決断のヒントになる場」を求めている。



面会交流

「子どもの視点」の欠落



公共機関の窓口対応

担当者の人的要因で情報が左右される



同居親の介護問題

子どもの世話がひと段落すると
親の介護が始まる